



3M課題研究

出羽三山神社とのお守り
コラボ企画

4年前に改修された

出羽三山神社大鳥居に

再び命を吹き込みみたい！！





START

CONTENTS



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

CONTENTS



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

CHAPTER 1

お守り製作の経緯



1 昨年からの継続課題だった！

2 100年ほど前の初代大鳥居が解体され野ざらしに。再び命を！ そして人々に恩恵を！

3 私たち自身共感し、お守りという形で量産したい！

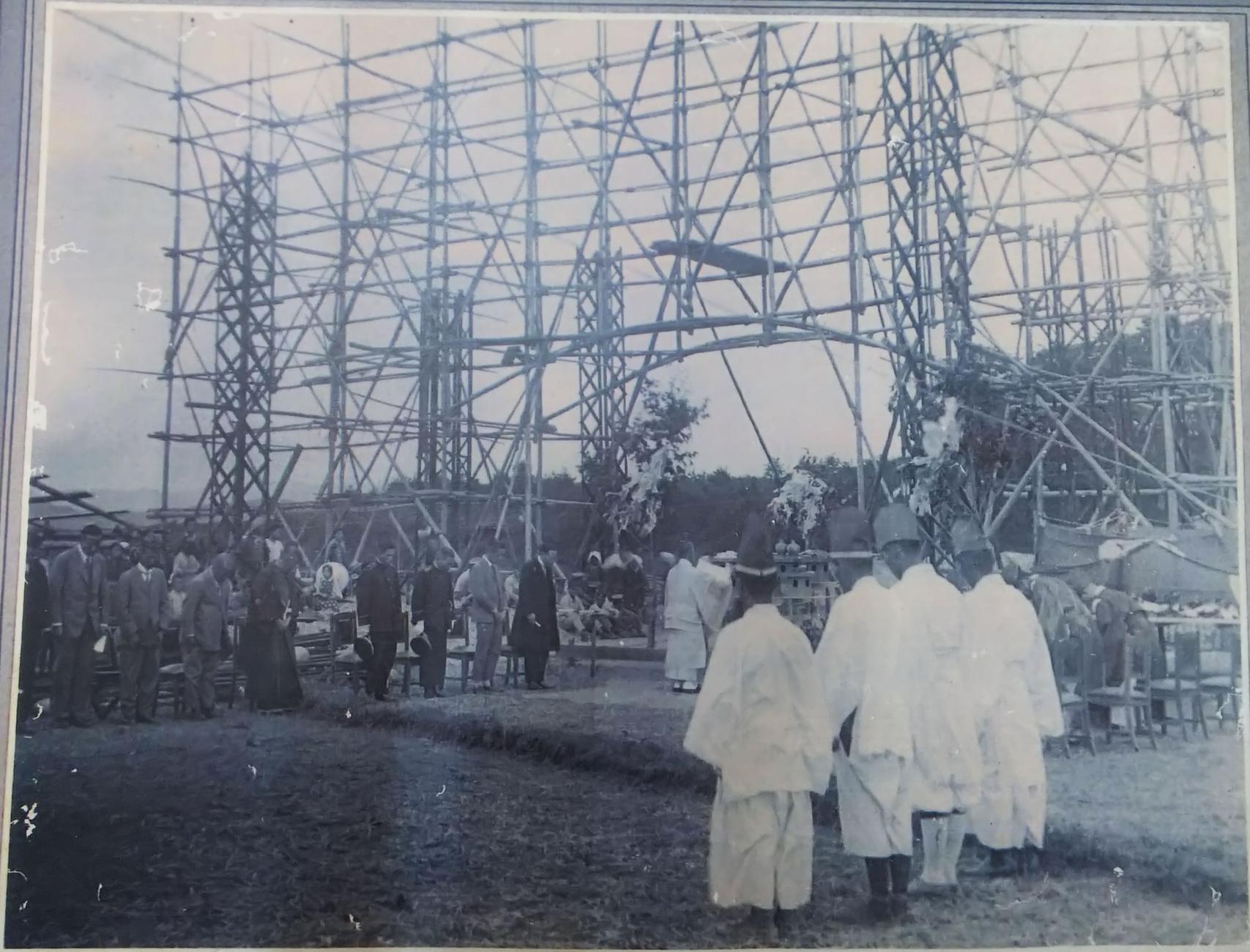
去年の先輩も取り組んだお守り



初代 羽黒山 大鳥居の解体～4年目……

約100年前に「魔よけ」や「神域への入口」という
思いを込めて造られた出羽三山神社の大鳥居は、
解体中。現在野ざらいになっている。

その姿を知り、私たち高校生は、「再び命を吹き込みたい!」
と…う思…から、出羽三山神社へ伺… 解体中の大鳥居を
粉状にして、お守りという形に変え、人々に恩恵を
与えられるか…という提案をし、共感いただきました。









CONTENTS



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

商品化の提案



- 1 昨年の先輩考案の「真鍮製を商品化したい」と持参し、出羽三山神社にて交渉した。
- 2 製品のクオリティを指摘され、「ご神木を活用した木製を」、と神社側より逆に提案された。
- 3 ご神木を譲っていただくことと、更に解体されてあるコンクリートの砕石の許可を得た。

令和4年6月20日

出羽三山神社 宮司 殿

羽黒高校 機械システム学科
教員 本間智哉

出羽三山神社ご神木など調達のお願い

拝啓 梅雨空の候、貴社におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、いつも本校教育活動にご理解ご協力下さり誠にありがとうございます。

さて、本校の機械システム学科の生徒が、昨年度、週3時間の課題研究という授業の中で、貴社の吉住様を通し、お守りの共同企画販売を企画していました。元々は、90年以上前に建てられた大鳥居が解体され、野ざらしになっている姿を見て、「再び命を吹き込みたい」という思いから「お守りにしてはどうか」という発想で始まった企画でした。生徒が旋盤で加工した真鍮製の試作品をお持ちしましたところ、担当者との会議を持っていただいた上で、クオリティーの低さを指摘され、そのまま商品化するの難しいとの回答を得ました。

しかしながら、いわゆる「売り物」ではなく、本校の生徒向けに記念品などのような形であれば協力できるのではないかとこの提案を递にいただき、元々考えていた真鍮製ではなく、もっと手軽に加工できる木製にしてはどうかと再提案しました。

そこで、ご神木および、解体されたコンクリート製の鳥居の欠片もいただき、それらを利用した何かを、本校もしくは本校生徒に還元させていただきたいというお願いです。

ご許可いただけるようであれば、下記のように進めてまいりたいと思っています。提案させていただきますので、ご検討お願いいたします。

敬具

記

- 1、文書の提出（6月）
- 2、今後の進め方について、神社担当者との話し合い（7月初旬）
- 3、ご神木・解体された鳥居の欠片の調達（7月中旬）
- 4、試作品の考案と製作（8月下旬～9月）
- 5、作品の提案（神社へ試作品を持参し許可を得る）（10月）
- 6、作品の量産（10月～12月）
- 7、作品を持参し、お祓い（心願成就・健康祈願）をお願いする。またそのシーンを撮影（1月）
- 8、卒業生または、学校への寄贈

但し、元々お守りという考えで始まった企画ですが、すぐには実現できそうになく、まずは校内で処理した作品のクオリティーを上げた上で、いずれ鳥居の欠片を利用した販売物品にしたいという目的は、継続していきたいと考えています。

また、今回いただいたご神木の形状によっては、我々の加工技術が限られていることから、何をどう作るかまでは決まっておらず、7月の話し合いの中で決めていく流れになります。

以上

出羽三山神社
御守り担当 吉住 殿

羽黒高校機械システム学科
3年課題研究お守り製作班 熊谷賀偉・杉山健斗

御守りの共同製作に関するご理解とお祓いのお願い

いつもお世話になっています。現在、本校3年課題研究でお守りを共同製作させていただいております。別紙、今年6月20日付の依頼文書の中に、「5、作品の提案（神社へ試作品を持参し許可を得る）（10月）」という部分があり、11月15日現在のところ、提案した通りには実施できていませんが、試作品の量産に入っています。



この写真にありますように、
一番左にあるお守りは、切り出しのまま作製しており、エッジもそのままです。
真ん中にあるお守りは、上下の端面は加工しておらずエッジの部分のみ面取りをしています。
一番右にあるお守りは、端面及びエッジまで全て研磨と面取りを施し、手触りがよくなるよう加工しています。

なお、コルクを外すと、下の写真のように砕石してきたコンクリートを、学校に持ち帰り、砕いた粉が封入されています。



こちらは、粉碎している様子です。



校内でのリサーチの結果、8割ほど一番右の作品に人気が集まりましたので、許可はいただいていないわけですが、量産に踏み切っています。量産したお守りを、いずれお祓いしていただき、今年度卒業生に配付したいと思います。数が揃いましたら、連絡を取った上で持参いたしますので、お祓いの御協力をお願いいたします。

商品化への提案は、その後させていただきます。お忙しい中とは存じますが、何卒よろしくお願いたします。

を、本校もししくは本校生徒に還元していただきたいと思います。
ご許可いただけるようであれば、下記のように進めてまいりたいと思っています。提案させていただきますので、ご検討お願いいたします。

敬具

記

日程

- 1, 文書の提出 (6月)
- 2, 今後の進め方について、神社担当者との話し合い (7月初旬)
- 3, ご神木・解体された鳥居の欠片の調達 (7月中旬)
- 4, 試作品の考案と製作 (8月下旬～9月)
- 5, 作品の提案 (神社へ試作品を持参し許可を得る) (10月)
- 6, 作品の量産 (10月～12月)
- 7, 作品を持参し、お祓い (心願成就・健康祈願) をお願いする。またそのシーンを撮影 (1月)
- 8, 卒業生または、学校への寄贈

但し、元々お守りという考えで始まった企画ですが、すぐには実現できそうになく、まずは校内で処理した作品のクオリティーを上げた上で、いずれ鳥居の欠片を利用した販売物品にしたいという目的は、継続していきたいと考えています。

また、今回いただいたご神木の形状によっては、我々の加工技術が限られていることから、何をどう作

CONTENTS



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ



1

文書で量産するお守りを確認。

2

課題研究の授業で製作。コツの共有。
時にはクラスメイトの応援も。

3

工業科卒業生と担任など、約70個の
完成を目標に決めた。



CONTENTS



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

CHAPTER 4

今後の展望



1

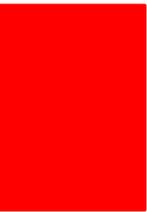
卒業生への配付で共感を得る。

2

クオリティーも含め商品化へ一歩進める。

3

来年度後輩たちへバトンタッチし、契約の道筋を立てる。



TOTAL



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

TOTAL



CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

TOTAL

CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

TOTAL

CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望



TOTAL

| | | |
|---------------------------------------|--|-----------------------------------|
| <u>CHAPTER 1</u> お守り製作の経緯 | | <u>CHAPTER 2</u> 商品化の提案 |
| | | |
| <u>CHAPTER 3</u> 製作・量産・卒業生へ | | <u>CHAPTER 4</u> 今後の展望 |



TOTAL

CHAPTER 1

お守り製作の経緯

CHAPTER 2

商品化の提案

いよいよ商品化へ！！

CHAPTER 3

製作・量産・卒業生へ

CHAPTER 4

今後の展望

PRODUCE



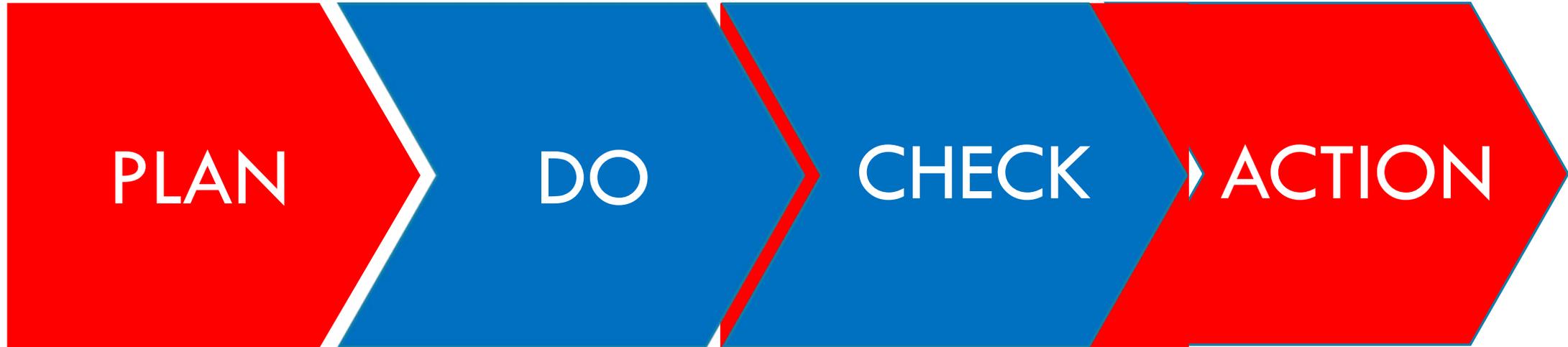
いよいよ商品化へ！！

ただ、そのために
今後詰めていかなければな
らないことは・・・。

PRODUCE

- ・ 製作し終えたお守りを持参し
- ・ お祓いをしていただき、魂を込め
- ・ その動画を観れるQRコードを付けたしおりを作成し
 - ・ お守りと一緒に袋詰めする
- ・ できれば出羽三山の歴史なども絡め興味や知名度を上げるよう演出
 - ・ 加えて高校生の、発案から製作までのプロデュースを織り込む
 - ・ 費用や収入、納品のことなどまだまだ共同で進める
ことや考えなければならぬことはたくさんある。

REPLANNING



REPLANNING



CICLE

P → D → C → A



END



END



END



END

出羽三山神社との共同企画

お守りの制作～商品化